



第12号

学校だより

けやき

平成29年12月15日
宇都宮市立上河内中学校
発行責任者 校長 西原 良一

2017年をふりかえって

学校としては4月に始まり翌年3月に終わる「年度」が1年間となりますが、マスコミなどではそろそろ恒例の「この1年をふりかえって」という番組が放送される時期となりました。

社会全体では、1月のトランプ政権発足、3月の韓国朴大統領罷免・逮捕、このころから次から次へと表面化した自民党議員による失言やトラブル。

また、7月の東京都議選での「都民ファースト」の圧勝をピークとする小池東京都知事の勢いとその後の衆院選での失速。9月には、安倍首相の突然の衆議院解散と10月の総選挙での自民党の大勝利、その結果としての安倍一強政治の継続。

11月に発覚した座間市の殺人死体遺棄事件、そして現在も連日ニュースで取り上げられている元横綱日馬富士の暴行事件。さらには、北朝鮮の核・ミサイル問題や漂着船の問題はこれからも続きそうな上に、トランプ大統領の「エルサレム首都」発言によりテロの危険性が増大するなど、ふりかえるとあまりいいことがない2017年に思えてしまうのは私だけでしょうか？

何とか明るいニュースを探すなら、上野動物園でのパンダの赤ちゃん「シャンシャン」の誕生、桐生選手が日本人として初めて「10秒の壁」を突破したこと。将棋の世界で中学生の藤井4段の連勝記録、世界卓球での日本選手の活躍などでしょうか。



ふりかえってみると「そんなこともあったな。」

「あれって、今年の出来事だっけ？」と思う出来事も

多く、いかに日々多くのことが起こり、世の中が目まぐるしく動いているかを思わずにはいられません。またマスコミの報道も、次から次へと話題を変え、情報を氾濫させ、人々の関心を転々とさせるため、少し前の出来事を遠いことのように錯覚させてしまったり、忘れさせているように思えてなりません。

これに対して、学校とは言え、社会情勢に影響は受けながらも、日々粛々と授業を行い、今年は特に例年と異なるような大きな出来事もなく、毎年行ってきた行事をこなし、教育活動が展開されています。

しかし、日常の当たり前のことを当たり前にこなしていくことは、ある意味とても大切なことだと私は考えます。その上で、自らのこの1年間を振り返り、頑張れたことは素直に喜び、悔やまれたことは謙虚に反省し、来年の改善に向けての決意を新たにしていけることをすべての生徒が実践してほしいと思っています。

地域の伝統を継承する

皆さんが知っているように上河内地区には、他の地域に誇れる伝統文化が連綿と受け継がれています。「天下一関白神獅子舞」や「梵天祭り」がそれです。

どちらも私（校長）にとっては未知のものでしたが、本校に勤務することになり、これらの伝統文化に触れる機会を得ました。

11月23日に行われた「梵天祭り」は宇都宮を代表するお祭りの一つですが、今年は前日から雨の影響で足元が悪い中、何本もの梵天が羽黒山神社の境内まで運び上げられ、奉納されるさまは一見の価値ありと感じました。

また、奉納する多くの集団の中に本校の生徒がいるのを見かけ、校長として、地域の伝統行事に中学生が参加し、ちゃんと受け継いでいる姿を見ることができて嬉しく思いました。何年か、何十年か先には、その生徒たちが「梵天祭り」の中心メンバーとなっていることでしょう。



「梵天祭り」の後継者たち

ハッピー姿が様になってます



もう一つの「天下一関白神獅子舞」は、8月5日の夏真っ盛りの中で関白山神社に奉納されるもので、昭和28年に当時の伊勢神宮の祭主の内親王から「天下一」の称号が記された掛け軸を与えられた由緒あるものだそうですが、以前本校のホームページでも書いたように、現役の中学生で直接関わっている人はいないそうです。しかし、本校では毎年1年生を対象に「関白神獅子舞」で演奏される笛と太鼓の体験授業を行っています。講師は、実際に「天下一関白神獅子舞」のメンバーの一人である「古橋正男」様をお願いして、各学級2時間（2日間連続）の体験をさせてもらっています。つまり、本校の生徒は全員この伝統芸能に触れているわけです。今は、地元自治会の人でなくても、神獅子舞の奉納に参加できるそうですから、体験授業を通して、この由緒ある神獅子舞を継承していこうという生徒が出てくることを期待しています。



保護者からの体罰等に係る相談機会（管理職への相談）について

夏休みにも設けた「体罰の根絶に向けた取組」として実施する「管理職への相談日」を冬休み明けにも設定します。期日は下記の3日間になります。

前回（夏休み実施時に）は、幸い相談は1件もありませんでしたが、何かあれば、遠慮なくご相談ください。相談は、電話でも学校に来ていただいても面談でもお受けいたします。

相談日	{	1月 9日（火）終日	校長・副校長 対応可能
		1月10日（水）午後3時まで	午前中は校長不在 副校長対応可能
		1月11日（木）終日	校長・副校長 対応可能

但し、予定外で急に対応が必要な事態が生じた場合などは、時間が取れないこともあることをご了承ください。なお、その場合には別日を改めて設けたいと考えております。